

アニメ交流で北京市の青少年が来日

日中国交正常化40周年記念事業がスタート

都庁 32F で歓迎会



宇都宮会長と文化交流委員会の役員が即興で「龍の舞」を舞う

日中国交正常化40周年事業のスタートを切つて、北京市人民対外友好協会派遣の「北京市青少年アニメ交流訪日団」(団長李徳志、北京市対友協副秘書長)が1月16日、都日中役員・会員ら日中合わせた120人が加わった。この事業は、

「二〇一二日中国民交流友好年」〇〇四号として外務省より認定された。会には、中国語スピーチコンテストで入賞した高校生・大学生がボランティア通訳として参加。初めは緊張気味だった団員たちも、交流が始まるとすぐに打ち解けた。今年、大江戸ダンスの8人が「丘を越えて」

「赤とんぼ」などに合わせて元気一杯の踊りを披露、団員たちはカメラやビデオを回しながら拍手喝采、終了後は駆け寄って一緒にカメラに収まっていた。

中国側団員はアニメソング「天空之城」(天空の城ラピュタ)などを合唱、各区の代表が太鼓に合わせて北京から持参した「龍」を操って春節を祝った。このあと、この「龍」は、都日中に贈られ、宇都宮会長と役員が見真似で「龍の舞い」を披露(写真)して、雰囲気が一気に盛り上がった。

★札幌でのアニメ交流 一行は、1月18日午後、札幌に向かい、19日午前、北海道日中の協力ニメ学院を訪問した。交流は4年目となり、日本人学生と2人1組で向かい合つて、お互いの似顔絵を描き合った。でき上った絵の「似てる判定」では、顔立ちの特色を捉えたイラストに「めっちゃめっちゃ似てる」「パーツがそっくり」と拍手と笑いで盛り上がった。月壇中1年の田島卿くんと「ドラえもん」を合作した村田華麟さんは、「とてもいい記念!」と携帯カメラで撮影した。

中国の旧暦・大晦日にあたる1月22日、学校法人文化学園・文化服装学院で「二〇一二春節を祝う会」絆・紐帯を開催。日本人・中国人を合わせ二〇名、スタッフとも二七〇名の参加となった。会場では本場中国の家庭料理、アトラクション、お年玉プレゼント抽選会を楽しんだ。

今回は「人民日報海外版宣伝企画部」「CJサロン」「在日遼寧同友会」等在日中国人サークルの方々に企画段階から協力をお願いした。

地上20階という展望の素晴らしい会場で、西園寺常務副会長の開会挨拶、文化服装学院院長の大沼さんの乾杯に始まり、池袋の中華料理店「永利」さん(盛付け指導の料理人まで派遣して頂いた)の美味しい料理を満喫しての歓談となった。

アトラクションは、NPO太極拳友好協会(FITA)長拳隊の少年少女たちが獅子舞(写真)・拳法・太極拳を実演、さらに虹の会大海グループは、新疆ウイグルの民族舞踊や日本舞踊・モンゴル舞踊を披露した。

舞踊や日本舞踊・モンゴル舞踊を披露した。プレゼント抽選会では選抜された十名が壇上で心境を語って商品を受け取り注目の的となった。会場には、都日中の紹介と会員募集コーナー、中国茶の試飲や、国際電話無料コーナー等のブースも設置。最後に「大海阿、故郷」を全員合唱、和やかな雰囲気の中、渡辺文化交流委員長長の挨拶で初の集いを終えた。

春節を祝う会 絆・紐帯

二七〇名が来場して楽しむ!



文化服装学院の講堂全体が舞台上

恒例! 青梅マラソンに

北京の中学生が健闘する

北京市対友協は、第46回青梅マラソン大会に8年連続となる「北京市民青梅マラソン訪日団」を派遣した。2月17日到着の夜、青梅市体育館の「ガンバ・ガンバ」で、竹内俊夫市長も出席して

青梅市日中友好協会の歓迎が開かれた。小澤会長の歓迎のことばを受けて、団長の盧燕寧・北京友協科長が、「青梅マラソンは競技である以上に、友好の懸け橋になつていきます」と挨拶。紹介された選手たちが「みなさん、こんばんは」「ありがとう」と日本語であいさつすると会場は拍手と笑いに包まれた。

19日、中学生4選手はジュニアロードレースに

参加、力いっぱい完走した。成績は、男子3歳の部で李想選手(9分53秒・7位/186人)、何錚選手(11分49秒・62位)、朱光超選手(12分48秒・131位) 女子の部で、谷雨崢選手(12分27秒・12位/114人)。李想選手の入賞が発表されると会場が大いに盛り上がった。

20日はスカイツリーが見える墨田区吾妻橋のレストランで都日中役員らと昼食をともにした。選手たちは、「日本が大好き。北京に帰りたい」と別れを惜しんだ。



スタート直前の北京代表選手

新事務局長に

栗山眞之の参与が就任

〔第28回理事会報告〕 東京都日中は12月17日、池袋の大福来宴会場で第28回理事会を開催、今後の活動事業などについて審議した。

まず宇都宮会長が「9月に北京を訪問し、10月には市民交流訪日団に同行した。来年は国交正常

化40周年となり、草の根の交流活動を子や孫の世代につなげる大切な年にしたい」と挨拶した。

報告事項の冒頭で宇都宮会長から「吉田愛子事務局長が2月で定年をむかえるので、事務局長を退任される。後任は3月

1日から栗山眞之の参与に決定した」との発表があった。栗山氏は自己紹介し「誠心誠意東京都日中の発展に尽くしていきたい」と挨拶。

また吉田事務局長は「2月で退任が決まり、すっきりとした気持ちである、27年間支えてくれた皆様のご協力に感謝する」と挨拶した。

続いて議事には、以下の議題が討議された。

①北京青少年アニメ交流団について(詳細は9面別掲)。

②2012年日中友好新年会について(詳細は10面別掲)。

③北京市民ランナー青梅マラソンの訪日団について(詳細は9面別掲)。

④第5回東京都囲碁愛好者訪日団について(詳細は10面別掲)。

⑤中国語普及委員会から、漢詩かるた交流会の予定について(詳細は11面別掲)。

議題はすべて拍手をもって承認された。

〔場所〕 日本青年館 十二時〜レセプション

栗山眞之さん

一九六一年東京都民生局入都。議政局総務課長、住宅局参事、建設局次長などを経て、一九九八年退職後、東京信用保証協会監事など。二〇一〇年より東京都日中参与。

日中友好のしんぶん
日本と中国
東京版

特定非営利活動法人 東京都日本中国友好協会 ☎03-3295-8241
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館内
ホームページ=http://www.jcfa-tyo.net/ E-mail=to-nichu@jcfa-tyo.net

宇都宮会長と文化交流委員会の役員が即興で「龍の舞」を舞う

中国側団員はアニメソング「天空之城」(天空の城ラピュタ)などを合唱、各区の代表が太鼓に合わせて北京から持参した「龍」を操って春節を祝った。このあと、この「龍」は、都日中に贈られ、宇都宮会長と役員が見真似で「龍の舞い」を披露(写真)して、雰囲気が一気に盛り上がった。

★札幌でのアニメ交流 一行は、1月18日午後、札幌に向かい、19日午前、北海道日中の協力ニメ学院を訪問した。交流は4年目となり、日本人学生と2人1組で向かい合つて、お互いの似顔絵を描き合った。でき上った絵の「似てる判定」では、顔立ちの特色を捉えたイラストに「めっちゃめっちゃ似てる」「パーツがそっくり」と拍手と笑いで盛り上がった。月壇中1年の田島卿くんと「ドラえもん」を合作した村田華麟さんは、「とてもいい記念!」と携帯カメラで撮影した。

中国の旧暦・大晦日にあたる1月22日、学校法人文化学園・文化服装学院で「二〇一二春節を祝う会」絆・紐帯を開催。日本人・中国人を合わせ二〇名、スタッフとも二七〇名の参加となった。会場では本場中国の家庭料理、アトラクション、お年玉プレゼント抽選会を楽しんだ。

今回は「人民日報海外版宣伝企画部」「CJサロン」「在日遼寧同友会」等在日中国人サークルの方々に企画段階から協力をお願いした。

地上20階という展望の素晴らしい会場で、西園寺常務副会長の開会挨拶、文化服装学院院長の大沼さんの乾杯に始まり、池袋の中華料理店「永利」さん(盛付け指導の料理人まで派遣して頂いた)の美味しい料理を満喫しての歓談となった。

アトラクションは、NPO太極拳友好協会(FITA)長拳隊の少年少女たちが獅子舞(写真)・拳法・太極拳を実演、さらに虹の会大海グループは、新疆ウイグルの民族舞踊や日本舞踊・モンゴル舞踊を披露した。

舞踊や日本舞踊・モンゴル舞踊を披露した。プレゼント抽選会では選抜された十名が壇上で心境を語って商品を受け取り注目の的となった。会場には、都日中の紹介と会員募集コーナー、中国茶の試飲や、国際電話無料コーナー等のブースも設置。最後に「大海阿、故郷」を全員合唱、和やかな雰囲気の中、渡辺文化交流委員長長の挨拶で初の集いを終えた。

恒例! 青梅マラソンに 北京の中学生が健闘する

青梅市日中友好協会の歓迎が開かれた。小澤会長の歓迎のことばを受けて、団長の盧燕寧・北京友協科長が、「青梅マラソンは競技である以上に、友好の懸け橋になつていきます」と挨拶。紹介された選手たちが「みなさん、こんばんは」「ありがとう」と日本語であいさつすると会場は拍手と笑いに包まれた。

19日、中学生4選手はジュニアロードレースに参加、力いっぱい完走した。成績は、男子3歳の部で李想選手(9分53秒・7位/186人)、何錚選手(11分49秒・62位)、朱光超選手(12分48秒・131位) 女子の部で、谷雨崢選手(12分27秒・12位/114人)。李想選手の入賞が発表されると会場が大いに盛り上がった。

20日はスカイツリーが見える墨田区吾妻橋のレストランで都日中役員らと昼食をともにした。選手たちは、「日本が大好き。北京に帰りたい」と別れを惜しんだ。

新事務局長に 栗山眞之の参与が就任

〔第28回理事会報告〕 東京都日中は12月17日、池袋の大福来宴会場で第28回理事会を開催、今後の活動事業などについて審議した。

まず宇都宮会長が「9月に北京を訪問し、10月には市民交流訪日団に同行した。来年は国交正常化40周年となり、草の根の交流活動を子や孫の世代につなげる大切な年にしたい」と挨拶した。

報告事項の冒頭で宇都宮会長から「吉田愛子事務局長が2月で定年をむかえるので、事務局長を退任される。後任は3月1日から栗山眞之の参与に決定した」との発表があった。栗山氏は自己紹介し「誠心誠意東京都日中の発展に尽くしていきたい」と挨拶。

また吉田事務局長は「2月で退任が決まり、すっきりとした気持ちである、27年間支えてくれた皆様のご協力に感謝する」と挨拶した。

続いて議事には、以下の議題が討議された。

①北京青少年アニメ交流団について(詳細は9面別掲)。

②2012年日中友好新年会について(詳細は10面別掲)。

③北京市民ランナー青梅マラソンの訪日団について(詳細は9面別掲)。

④第5回東京都囲碁愛好者訪日団について(詳細は10面別掲)。

⑤中国語普及委員会から、漢詩かるた交流会の予定について(詳細は11面別掲)。

議題はすべて拍手をもって承認された。

〔場所〕 日本青年館 十二時〜レセプション

栗山眞之さん

一九六一年東京都民生局入都。議政局総務課長、住宅局参事、建設局次長などを経て、一九九八年退職後、東京信用保証協会監事など。二〇一〇年より東京都日中参与。

お知らせ

二〇一二年度通常総会

〔日時〕 二〇一二年六月二三日 午前十時より

村の 共産党 支部書記の横 暴に抗

議し、村民による村長や幹部の直接選挙をもちかけた。東省の烏坎村、それはネット社会の勝利でもあると新聞は伝えている。▼烏坎村は陸豊市にあると聞いて思い起こすのは彭湃のこと。一九一八年陸豊の隣県海豊の大地主の息子彭湃は日本に留学し、日本語修得後早大専門部に学んだ。正義感の強い彭湃は一九一九年の五四運動に呼応する在日留学生の運動に参加し、当時の日本の社会思潮にも触発され、帰国後農民運動を始めた。▼最初は相手にされなかったがやがて海豊、陸豊両県の農民を組織し、一九二八年には海陸豊ソビエトという農民の政権を成立させた。翌年彭湃は上海で逮捕され31歳の若さで処刑されたが、海陸豊一帯の組織は消滅せず、戦争中は日本軍に抵抗する強力な根拠地となった。

▼リーダーが犠牲になっても圧力に屈せず民主的選挙をもちこつた烏坎村には、農民に受け継がれた不義不正との戦いの伝統があり、急速かつ広範に事実を伝えるインターネットはその強力な支援媒体となったのだらう。

▼有権者八千人以上の村で自らの手で民主的選挙を行いたいということに中国の伝統的農村社会の在り方「郷村自治」を考えさせられる。(星)

都日中・社日中友好協会主催

日中友好新年会開く

都日中(社)日中友好協会が主催して「二〇一二年日中友好新年会」が1月18日、千代田区・一ツ橋の如水会館で開かれた。協会員や、程永華・駐日中国大使、江田五月・(財)日中友好会館会長、谷垣禎一・自民党総裁はじめ各界から二五〇人が出席した。



主催者を代表して加藤

都日中(社)日中友好協会会長が共催して「二〇一二年日中友好新年会」が1月18日、千代田区・一ツ橋の如水会館で開かれた。協会員や、程永華・駐日中国大使、江田五月・(財)日中友好会館会長、谷垣禎一・自民党総裁はじめ各界から二五〇人が出席した。

心の交流ができる年に！

日中女性新春の集い

都日中女性部会による日中女性新春の集いが、2月18日、新橋・新橋亭で開催された。中国大使館の汪婉大使夫人、王麟三等書記官、桜美林大学専任講師の張利利さん、人民中国雑誌社の賈秋雅、東京支局長らをゲストに

65人が参加した。古島琴子常務副会長が日中国交正常化40周年の都日中の活動を紹介して主催者挨拶、汪大使夫人(友好交流部主任)は、アニメ交流団などに触れて「女性部会の皆さんの活動に感動しています」

曲「黄昏の上海」を披露、歌手の若林千恵子さんが生徒らと「鉄腕アトム」海はふるさと」などを合唱、会場も唱和して楽しい時間を過ごした。参加者が持ち寄ったミニバザーも大好評、六万六千円を売り上げた。



乾杯の音頭をとる好美さん(右から2人目)

程大使、中野謙・外務省の祝辞のあと、宇都宮会長が乾杯の音頭をとり「今年は40年前に日中関係の正常化を成し遂げた大事な年。私の世代から、次の世代へ引き継いで、世世代代の友好発展を願う」と挨拶した。

夫人の好美さんが「心と心の交流ができる年になりますように」と乾杯の音頭をとった。台湾出身の雪露(シュエール)さんがデビュー曲「黄昏の上海」を披露、歌手の若林千恵子さんが生徒らと「鉄腕アトム」海はふるさと」などを合唱、会場も唱和して楽しい時間を過ごした。参加者が持ち寄ったミニバザーも大好評、六万六千円を売り上げた。



渋谷区日中

汪婉大使夫人の挨拶に感動した

2月4日(土)、暦の上では立春を迎えたこの日、渋谷区では桑原敏武区長をはじめ都日中の宇都宮徳一郎会長、中国大使汪婉夫人ほか都議会議員、渋谷区議会日中議員連盟の方々、後援寮の中国留学・研修生など多くの来賓をお迎えして和やか、賑やかに春節の集いを開催した。

宇都宮会長からは、国交正常化四十周年、先輩



達かどのような思いで活動してきたか、次の世代へ引き継ぐことが目標であり義務であると力強い挨拶があった。

こつと友好のために草の根の交流を続けてこられたことに敬意を表する。渋谷区としても青少年を派遣して、若い世代が感動したり、考え方の相違に気付いたりした体験談に、次世代の交流の必然性を感じた。四十周年の今年を国民交流友好年と決め、新たな出会い、心の絆を大切にしたい。今年を飛龍の年にしましょう」と結ばれた。

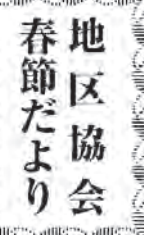
アトラクションでは毎年お願ひしている長拳隊の素晴らしい演技と、後援寮芸術団の琵琶・楊琴・オカリナや孟繁傑さんの「桜まつり」にあわせて「中国留学生を招いて桜祭りの会」、秋には

千代田区日中

健康麻将牌を使ってビンゴゲーム

2月4日、神保町の「咸亨酒店」において「定期総会」と「日中友好新春のつどい」を開催しました。

事業計画では、4月8日(日)、千代田区の「桜まつり」にあわせて「中国留学生を招いて桜祭りの会」、秋には



地区協会 春節だより

「漢字の由来」展を千代田区役所1Fホールで開催を決定

恒例の「日中友好新春のつどい」は、総会終了後同会場で、後援寮より中国留学生10名をお招きして行いました。田邊恵三理事長、内田茂副会長

の日暮六段と横川五段から12日まで「東京都囲碁愛好者訪中団」(団長 中野修東京都日中友好協会常務理事) 20名を蘇州市に派遣した。「天井に極楽あり、地上に蘇州杭州がある」とまで歌われた蘇州は、まさに風光明媚な水の都。

東京都 囲碁愛好者 訪中団報告

囲碁を通じて日中文化交流

初日は、水郷古鎮として名高い朱家角と周荘を巡り、水の都を満喫した。夕刻蘇州に入り、琵琶の演奏と歌による「蘇州夜曲」を聞きながらの夕食となった。蘇州料理は、意外と薄味でさっぱりした舌触りは日本人向き。夕食後ホテルにチェックインすると、翁子瑜(中国棋士六段)氏が友人を伴って碁の指導に駆けつけてくれた。早速、

酒を酌み交わしながらの指導囲碁対局となった。2日目は、無錫観光で霧に霞む太湖を遊覧。午後蘇州に戻り、世界遺産の拙政園や寒山寺を見学した。夜、選手たちは、翁子瑜氏・小澤主将指導のもとに囲碁トレーニングを行った。

第3日目は、待ちに待った囲碁対局である。対局は中国ルールで、段位に関係なくオール互戦、込は7目半、持ち時間一人40分、2局の対戦。とにかく中国選手は、柔らかい打ち回しで

時に強手を打ってくる。対局の後交流懇親会は、中野団長が冒頭「東日本大震災では、一早く支援の手を差し伸べていただいた」と感謝の言葉を述べ、「今度の訪中団は、勝負にもこだわり友好第二のつもりで来たが、結果的には、友好第一となったようだ」と挨拶をした。蘇州市外弁公室張陸氏は「囲碁を通して日中の友好が図られる」との挨拶があり、記念品の交換を行った。その後対局者お互いの健康を称え合い終始和やかなうちに交流会を終えた。勝敗は審判員から日本の6勝、蘇州の22勝と報告された。午後は孫子の兵法で有名な穹窿山を視察した。(田中高雄)

練馬区日中

帰国者による太極拳や夫婦二重演奏など

練馬区日中友好協会と同歩会(中国帰国者・家族とともに歩む練馬の会)が共催する「二〇一二年春節の集い」は2月12日練馬区勤労福祉会館で開かれた。昨年11月に亡くなった中村勇前会長に黙祷をささげた挨拶があった。



スライドで同歩会の歩みを紹介。恒例のアトラクションでは、中国帰国者による太極拳・太極扇・太極剣を初めとして、歌や舞踊、ひょうたん笛の親子演奏や電子サックスの夫婦二重奏などで楽しんだ。会場は中国の歌や日本の懐メロが入り混じり、中国語と日本語が飛び交い、幼児の声も混じって独得の家族的な雰囲気溢れていた。(片岡)

Temjin 真実的中国と真実的日本
 テムジン ドキュメンタリー番組
 証言記録 兵士たちの戦争
「満州国軍」
 ～五族協和を目指した若者たち～
 2012年3月31日(土) 16時00分～17時00分 NHK-BSプレミアムにて放送
 株式会社テムジン
 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-34-4 TEL:03-5465-6678

浄土宗 梅窓院
 住職 中島真成
 〒107-0062 東京都港区南青山2丁目26-38
 電話 03 (3404) 8447 (代) FAX 03 (3404) 8107
 梅窓院ホームページ URL=http://www.baisouin.or.jp/

北区日中 北京ダックの大盤振る舞いに歓声上がる

恒例の春節餃子パーティーが1月29日に王子小学校ランチルームを会場に約200名の参加を得て、盛大に開催された。当日は9時から餃子の皮作りと具の仕込み作業を開始、中国人参加者が日本人参加者に手ほどきするアットホームな雰囲気でおこなわれた。



餃子パーティーの様子。恒例の春節餃子パーティーが1月29日に王子小学校ランチルームを会場に約200名の参加を得て、盛大に開催された。

豊島区日中 餃子パーティー

平成24年2月5日(日)生活産業プラザ多目的ホールにおいて、恒例の「春節を祝う会」が開催されました。



豊島区日中春節を祝う会の様子。

都宮徳一郎会長、衆議院の青木愛議員が祝辞を述べ、山本英一校長の歓迎の挨拶に続いて、区議会友好議員連盟の戸枝大幸会長の乾杯の発声でパーティーがスタートした。

目黒区日中 鬼も追い払う 春節を祝う会

中国より一週間遅れの1月31日「日中友好春節のつどい」が目黒区役所一階レストランで開催された。中国の方々、区三役、日中友好目黒区議員連盟、日中友好目黒区職員会やOB有志、会員を含めて、出席者は総勢約60人。



目黒区日中春節を祝う会の様子。

「お年玉大抽選会」で、協会副会長賞、議長賞、協会賞など、参加者全員に景品が行き渡りました。

第二回・漢詩かるた交流会

漢詩を架け橋とした日中文化交流

遠く佐賀県からも参加者が

去る2月19日(日)、葉で読み札が読まれ、どちらの言語を母国語とする人にも公平になるよう更に読みの先行を途中で変えることも行いました。参加者の中には詩の

の留学生9名を含む53名、某書店のホームページで漢詩かるた会の開催を知り、遠く佐賀県から参加された方もいました。



漢詩朗誦の部には予め申し込みをした方以外に3名の方が飛び入りで参加、朗誦する人もそれを聞く人も箏曲(CD)のBGMとともに詩の美しさを楽しみました。

第一部は漢詩かるた大会。団体戦、個人戦の順にそれぞれ30分ずつ、日本語・中国語の両方の言

教職員部会連続講座

「うちのカミ讚」

一〇〇回を記念して

3月10日、「うちのカミ讚」一〇〇回を記念して



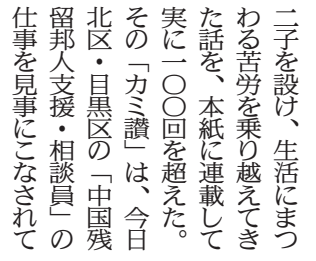
と日本語が飛び交い、漢詩や中国語学習を話題に楽しいひと時を過ごしました。佐賀県から参加された宮原さんは「ぜひ佐賀でも漢詩かるたを広めたい」と語り、後援者として来られた周曉光さんは「中国の漢詩という文化を通して日中交流ができることは本当に嬉しい」と感想を述べられました。

中国語教室
神田・青山・池袋で
新学期4月開講
お問合せは都日中事務局へ
(tel 03-3295-8241)

練馬区日中会長 故中村勇さん
一九七六年七月に日中友好協会に入会。東京都日中の理事を勤め、練馬区日中友好協会会長、帰国者とともに歩く練馬区同歩会の会長などを歴任された。二〇一一年十一月に病没。享年87歳。

作文募集
国交正常化40周年を記念して作文を公募します。
テーマ：私にとって中国とは何か？
部門A：中・高生部門(15~18歳)
部門B：一般部門(19歳以上)
字数：600字以上~800字以内
締切：2012年7月31日(消印有効)
成績：AB部門とも最優秀作・佳作発表：『日本と中国』東京版に掲載
* 詳細は東京都日中事務局へ

「うちのカミ讚」一〇〇回を記念して、教職員部会の連続講座が開かれました。講師は本紙でおなじみの滝口忠雄さん。



滝口忠雄氏
二子を設け、生活にまつわる苦労を乗り越えてきた話を、本紙に連載して一〇〇回を超えた。

HANEDA 鋼管
船舶・石化用 圧力配管用 高温・高圧用 ボイラ・低温用
株式会社 羽田パイプ製造所
取締役社長 野口雄司
東京都大田区北糞谷2-10-13
電話 (03)3742-0161 (代)
http://www.haneda-pipe.co.jp
E-mail: hpw@haneda-pipe.co.jp

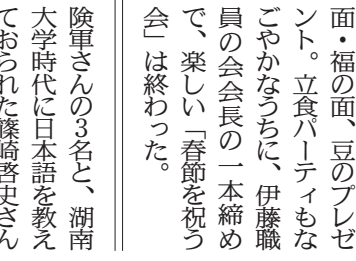
中央区日中
交流座談会
3月3日(土) 中央区日中友好協会主催で『中国へ湖南省を知ろう』をテーマに交流座談会が開催されました。



「中国を知ろう」シリーズで湖南省について語り合う。中央区日中では今後も『中国を知ろう』シリーズとして、省ごとにスポットあてる交流座談会を開催していく計画です。

まずは篠崎先生がご自身の湖南での生活体験を、続いて3名の青年がそれぞれのふるさとについてパワーポイントを駆使しながら紹介してくれました。切り口は三人三様。出身地も海南省、湖南省、山西省とばらばらで、彼らの実体験に基づいたお話はとても興味深く、大変内容の濃い交流会となりました。中国人留学生の方も参加してくださり、終了後の鍋を囲みながらの懇親会も和気あいあい、賑やかに盛り上がりしました。

この交流座談会では、中国の生活体験を語る。湖南省の生活体験を語る。中央区日中友好協会主催で『中国へ湖南省を知ろう』をテーマに交流座談会が開催されました。



この交流座談会では、中国の生活体験を語る。湖南省の生活体験を語る。中央区日中友好協会主催で『中国へ湖南省を知ろう』をテーマに交流座談会が開催されました。

あしたの「笑顔」を創造する。
株式会社 ミノファーズ 製薬
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 TEL 03(5909)2323(代)

熱気がこもった友好交流のつどい

暮の12月17日、池袋の大福来において文化交流委員会が主催して「日中友好交流のつどい」が開かれた。宇都宮会長が主催者を代表して挨拶のあと、日本遼寧同郷会から宋啓海副会長が乾杯の音頭をとった。



出し物は、まずサック入演奏の鄭俊忠さん。それに続いて大海グループによる、チベットの踊りや日本民謡と中国の踊りが、それぞれの衣装を着飾って、会場を盛り上げた。

参加者は社会人、帰国者、中国留学生を中心として、全体的に若者が多く、大福来の中華バイキング料理は好評で飛びよつた。みなその美味に舌鼓をつた。ラストはお楽しみ抽選会。中国からの帰国者などとも合わせて二七五人が

集まって、熱気溢れて、心と心が触れ合つたつどいであった。

★「交流の集い」の協賛リスト

- 坂西勝司 大貫武 落合慶一郎 田中高雄 大塚順子 中村一男 川本淳子 北島一巳 池田俊雄 池田千鶴子 武井聖司 武井郁子 明立周二 張志臣 多田義明 金久保綾子 池田禮子 古島琴子 松井幸雄 渡辺道代 橋本准子 広瀬達志 ミノフアゲン製菓 岡嶋昭治 坂田和子 角露満 堂 玉利幸雄 栗山眞之 尾崎隆信 匿名三名
- 伊藤豊子 滝口忠雄 海老澤ひさる 富澤弘治 堀口和子 堀口謙 山口 菊子 豊島区日中 豊島区議連 関東東郷光社 秋元政江 天沼友一 三宅進 中村端子 竹花富美子 吉川信一 前田久男 荒井和子 西園寺一 千代田区日中 中野修 尾崎隆信 匿名三名



賛助金・寄付金をお寄せくださった方々

- 都日中の活動賛助金・寄付金に協力くださった方々のお名前を掲載させていただきます(11年12月16日~12年2月24日、15万5000円)。
- 内田卓志、内藤益子、吉田愛子、松井幸雄、古島琴子、中国語普及委員会、文化交流委員会 (順不同、敬称略) ありがとうございます。

中国語教室のご案内

- 二〇一二年度前期 (4月2日~9月10日)
- 会場：日中友好会館 (神田錦町) 7階
- 入門クラス 毎週火曜 講師 島村泰子
 - 初級クラス 毎週月曜 講師 島村泰子
 - 中級1クラス 毎週火曜 講師 関塚
 - 応用クラス 毎週水曜 講師 宋侃
- 会場：豊島区民センター 中級2クラス 毎週月曜 講師 李明華 (申込み・問合せ) 東京都日中友好協会へ

うちの カミ讚

◆春節のことなど

私との結婚以来、一度も春節を中国で過ごしてないといつて、カミさんは春節前に大連に一人で帰った。ついでに老父母の体の様子見である。今年の旧暦元旦、春節は1月の23日月曜日。日本人にとっては平日にすぎないが、中国人にとってはやはり特別な日。しかし、我々にとつても特別な日となった。各地区協会が「春節を祝う会」を開く。私が参加するのは所属する目黒区だけではない。知り合いの他協会からも誘われ、この時期はそんなことで忙しい。カミさんも北区内中の「春節餃子パーティー」に参加して餃子の作り手として、朝早く家を出ていった。なにしろ二〇〇人が食べる餃子を作るというのだから大変だ。さらにカミさんは仕事

でも目黒区の「中国残留邦人等、支援・相談員」として目黒区の「残留孤児・邦人」たちの「春節を祝う会」を2月2日に仕切った。目黒区在住の8家族のほか、北区、港区の「残留孤児・邦人」40余名が集まり水餃子、豚肉の角煮、麻婆豆腐、ゴマ団子等を作り懇談した。日本人でありながら飛び交うのは中国語。この会に新華社が取材に来た。中国の記者だといふので、みんな喜んで挨拶したという。教人の「残留孤児」にインタビュをし、1時間くらいに送るので、カミさんに本人の承諾をとってほしいと依頼された。その原稿を読ませてもらった。『残留孤児』という言葉は中国では小説「大地の子」でよく知られている。戦後様々な原因で国に帰れず、中国に「遺棄」された子供たちだ」という。「残留」という自らの意思で残ったというニュアンスであるが、

最近では村上春樹の小説が翻訳され人気を博している。川端康成がノーベル賞を受賞した時の記念講演「美しい日本の私」は綺麗な文章として高校の教科書にも掲載されているなど、興味のある話だった。

期日 3月31日(土) 庁舎体育室 (観覧無料) (主催・問合せ) 日本太極柔力球協会 (TEL) 03-5577-6502

期日 3月29日(木) 期日 3月31日(土) 期日 3月31日(土)

◆2月講座 中国経済発展の姿をリアルに分析



2月15日孔子学院との共同講座「転換期に立つ中国経済」が行なわれた。講師は孔子学院院長であり都日中副会長で

西園寺一晃先生

スポーツを通じて友好を深め、日中両国の運動不足を楽しく解消しよう。当日は体育館内に東日本大地震の被災支援募金箱を設置します。

日中友好スポーツ交流会

4月22日(日) 滝野川体育館

4月22日(日) 10時~15時 30分/北区・滝野川体育館/ 会費500円(昼食代含む) 当日お支払/バレーボール、卓球、太極柔力球、バトミントンなど/主催・都日中、北区日中/共催・東京都北区

一九七九年に大転換をおこなった。それは革命から経済へ、である。競争の論理を導入し、平等を壊し、力のあるものは先を走れということである。それは価値観の変化、欲望の助長を生ん

もある西園寺一晃氏。中国経済は、「失速し崩壊する」「失速するが長期的には発展する」などと言われているが、本当のところ分る人はいない。「人民日報」は「工業化の中・長期的発展」「都市化の加速期」「市場化の完成期」「情報化の推進期」「国際化の向上」について触れている。リーマンショック以降EUが深刻になり先進国が苦しむ中、中国はいち早く苦しみから脱却した。ある程度失速はあるだろうが崩壊するとは考えられない。

◆3月講座

中国における 日本研究

石雲艶先生

現在、中国の日本研究の専門家は三百人ほどで、日本関係者全体の1割くらいである。世代別に分けると第一世代は最も古い世代で「日本研究の先駆者」といえる。第二世代は文革世代。第三世代は文革後、大学受験制度が始まった以降。第四世代は現在の30代から40歳代の人達をいう。日本研究者の70%は大学において、社会科学院・政府研究機関・出版社が、それぞれ10%くらいである。

文学の面でも、夏目漱石・芥川龍之介・森鷗外・谷崎潤一郎・三島由紀夫・川端康成・大江健三郎などの翻訳ばかりではなく、源氏物語や「京劇と歌舞伎」の比較なども行われ、丸山真男や梅原猛などの思想研究もさ

ご案内

国際太極柔力球 交流大会 in つぎょう

期日 3月29日(木) 期日 3月31日(土) 会場 日本青年館会議室 / 味の素スタジアム 内・東京都調布市

期日 3月29日(木) 期日 3月31日(土) 会場 日本青年館会議室 / 味の素スタジアム 内・東京都調布市

人民中国雑誌社・二十一世紀旅行の共同企画

-日中国交正常化40周年記念-

貴州省苗族の村と湖南省 武陵源の絶景を訪ねる旅

貴州省の銘酒「茅台酒」の故郷と遵義会議会址、少数民族の苗(ミャオ)族が住む最大の村「西江村」、「鎮遠古城」を訪ねます。その後、隣接した湖南省へ足を延ばし、「鳳凰古城」の美しい夜景の鑑賞と散策、世界遺産・武陵源の絶景をお楽しみいただきます。「人民中国」于明新前社長も随行いたします。

[募集要項]

- 訪問期間=2012年5月9日(水)~5月16日(水)
- 訪問都市=北京・貴陽・遵義・鎮遠・鳳凰・張家界
- 旅行代金=235,000円(燃油サーチャージ含まず)
- 募集人員=20名(最少催行人員15名)
- 申込締切=2012年3月26日(月)

旅行企画・実施

中国の旅・世界の旅 株式会社 二十一世紀旅行 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4日中友好会館3階 TEL03(5281)2460 FAX03(5281)2465 観光庁長官登録旅行業第709号 JATA 正会員 総合旅行業務取扱管理者・増山 章